

# 決算説明

2021年3月期  
第2四半期

2020年11月18日

 株式会社田中化学研究所

# 目次

1. 2021年3月期 第2四半期 決算ハイライト
2. 2021年3月期 第2四半期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前年同期との差異要因
4. 製品別販売Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（\$/LBベース）
6. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
7. Northvolt（ノースボルト）社に対する  
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結
8. 営業利益 前年同期との差異要因
9. 営業外収支および特別損益
10. 比較貸借対照表
11. キャッシュ・フロー計算書
12. 今後のリチウムイオン二次電池市場
13. 技術開発の方向性
14. 中期ビジョン
15. 2021年3月期 業績予想
16. 製品別販売数量予想

## 付属資料

17. 業績を見る注意点
- 注意事項

# 1. 2021年3月期 第2四半期 決算ハイライト



(単位:百万円)

	2019/9期	2020/9期	増減	増減率
売上高	10,686	9,995	△ 690	△6.5%
営業利益	△ 391	181	+572	—
経常利益	△ 410	138	+548	—
四半期純利益	△ 533	△ 21	+511	—
EPS(円)	△ 16.39	△ 0.66	+15.73	—
設備投資額	3,960	3,871	△ 88	△2.2%
減価償却費	399	610	+211	+52.9%
期末従業員数(人)	273	308	+35	+12.8%

## 2. 2021年3月期 第2四半期 決算トピックス



### ●販売数量は前年同期比 $\Delta 4.9\%$

- ・ リチウムイオン電池向け  $\Delta 5.4\%$  (民生用途  $\Delta 15.8\%$ 、車載用途  $+ 2.9\%$ )  
民生用途: 最終製品の需要減少  
車載用途: コロナ禍の影響で販売減少はあったものの、主要顧客で需要回復
- ・ ニッケル水素電池向け  $\Delta 3.6\%$  (民生用途  $\Delta 24.9\%$ 、車載用途  $\Delta 1.5\%$ )  
車載用途: コロナ禍の影響でHV車の需要減少

### ●主原料相場

- ・ ニッケル 相場は前期末より上昇傾向、コバルト相場は前期から低下を続けていたが反転し、上昇の兆しを見せている

### ●コスト上昇

- ・ 中期的な増産に向けた  
設備投資による減価償却費増加  
組織人員体制強化による労務費の増加

### ●設備投資

- ・ 設備投資金額計 3,871百万円  
第三期投資分 8,000百万円 (2018年11月～着工 ⇒ 2020年9月完成)

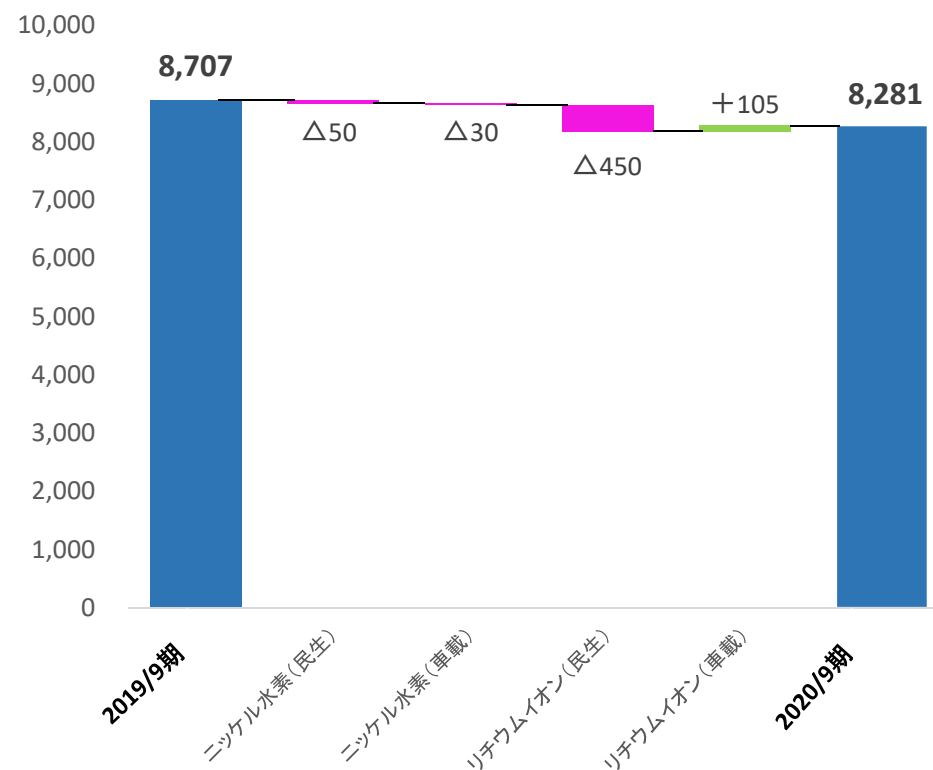
### ●Northvolt (ノースボルト) 社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結

- ・ 2019年10月15日 スウェーデン・ストックホルムに本拠を置くNorthvolt 社との間で、前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約及び前駆体販売契約を締結
- ・ 2020年8月6日 契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高10億円を、2021年3月期第2四半期期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において計上

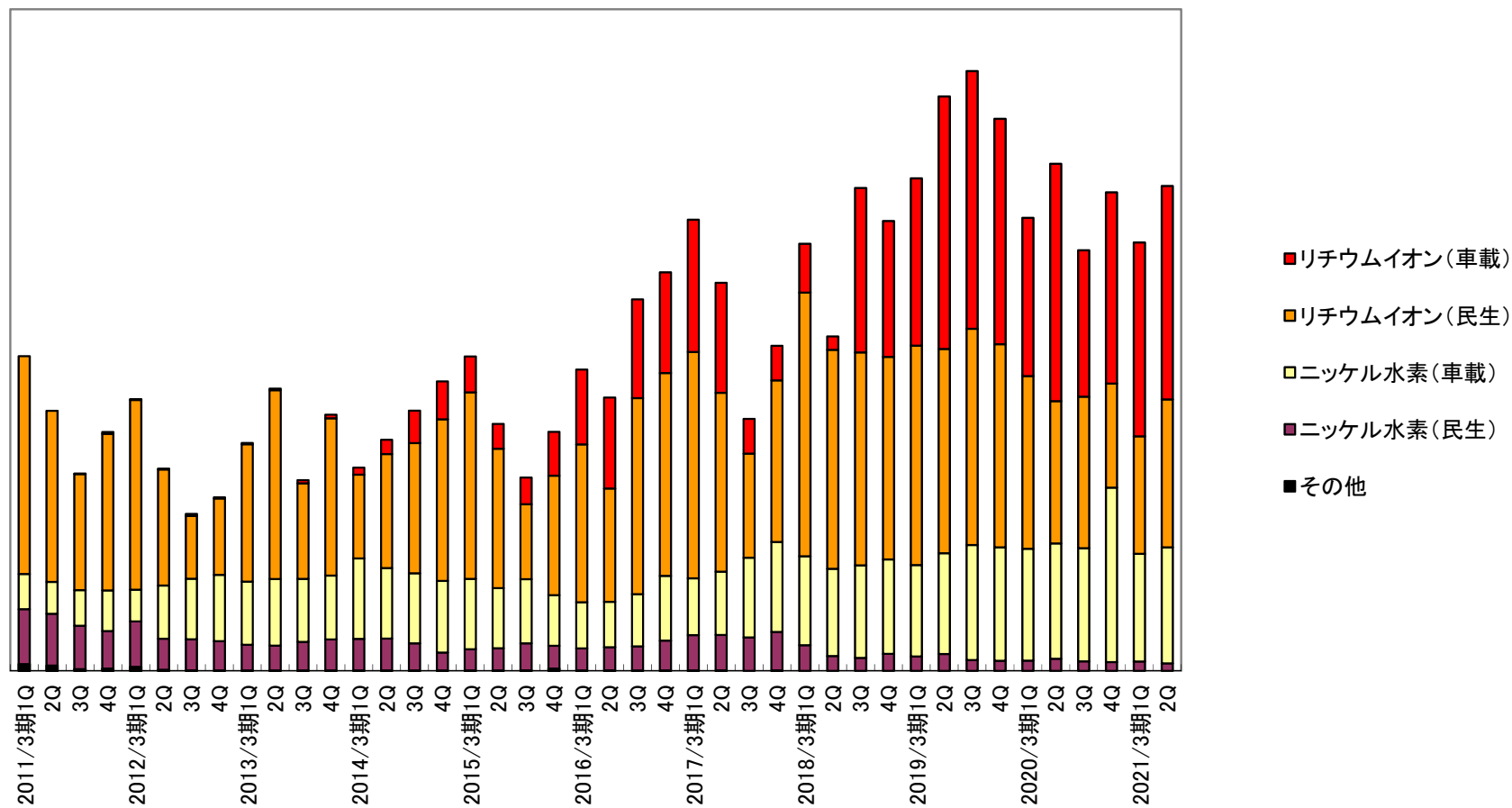
### 3. 製品別販売数量 前年同期との差異要因

(単位:t)

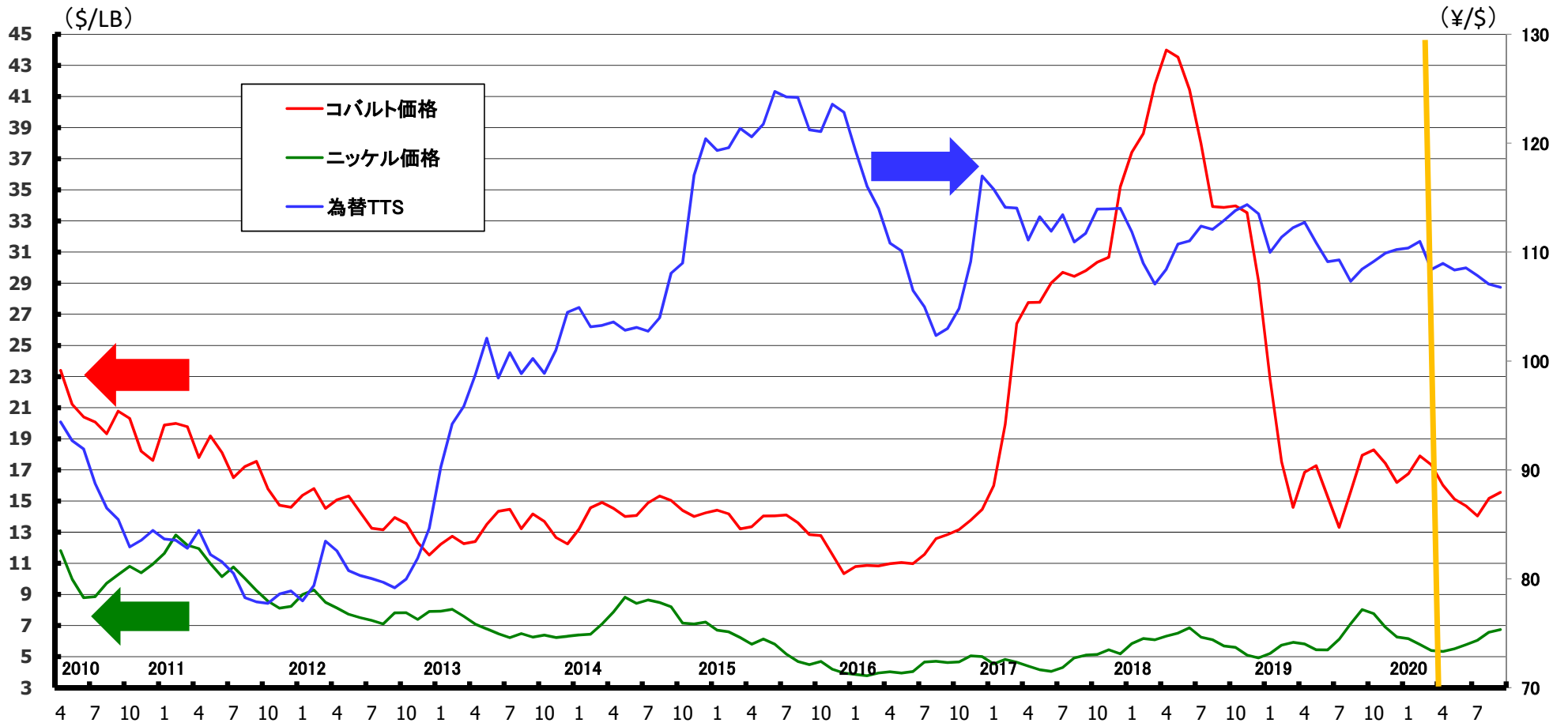
		2019/9期	2020/9期	増減	増減率
リチウムイオン	民生	2,856	2,405	△450	△15.8%
	車載	3,587	3,693	+105	+2.9%
	計	6,443	6,098	△345	△5.4%
ニッケル水素	民生	203	152	△50	△24.9%
	車載	2,060	2,030	△30	△1.5%
	計	2,263	2,182	△80	△3.6%
その他		0	0	—	—
合計		8,707	8,281	△425	△4.9%



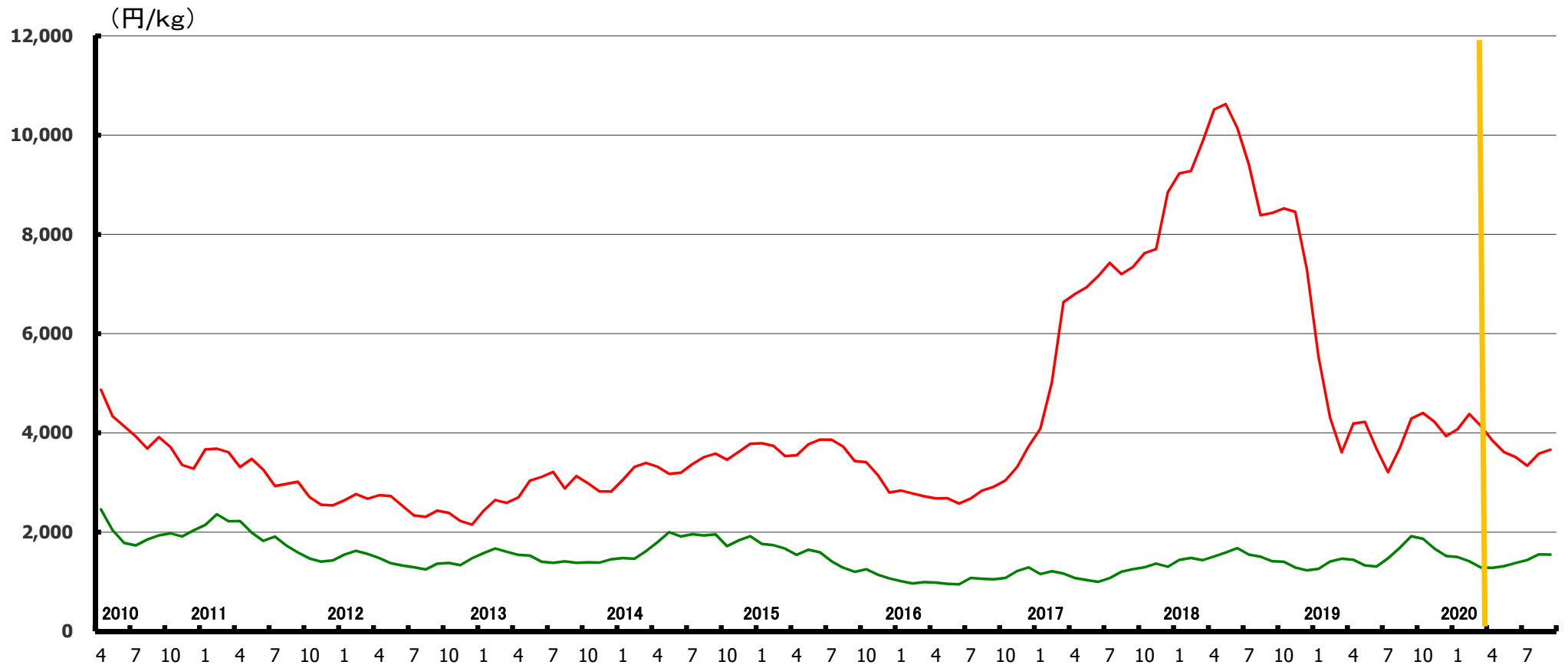
# 4. 製品別販売Q毎推移



# 5. 主原料国際価格推移 (\$/LBベース)



## 6. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)





## 7. Northvolt (ノースボルト) 社に対する

### 前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結



#### ● 契約概要（締結日：2019年10月15日）

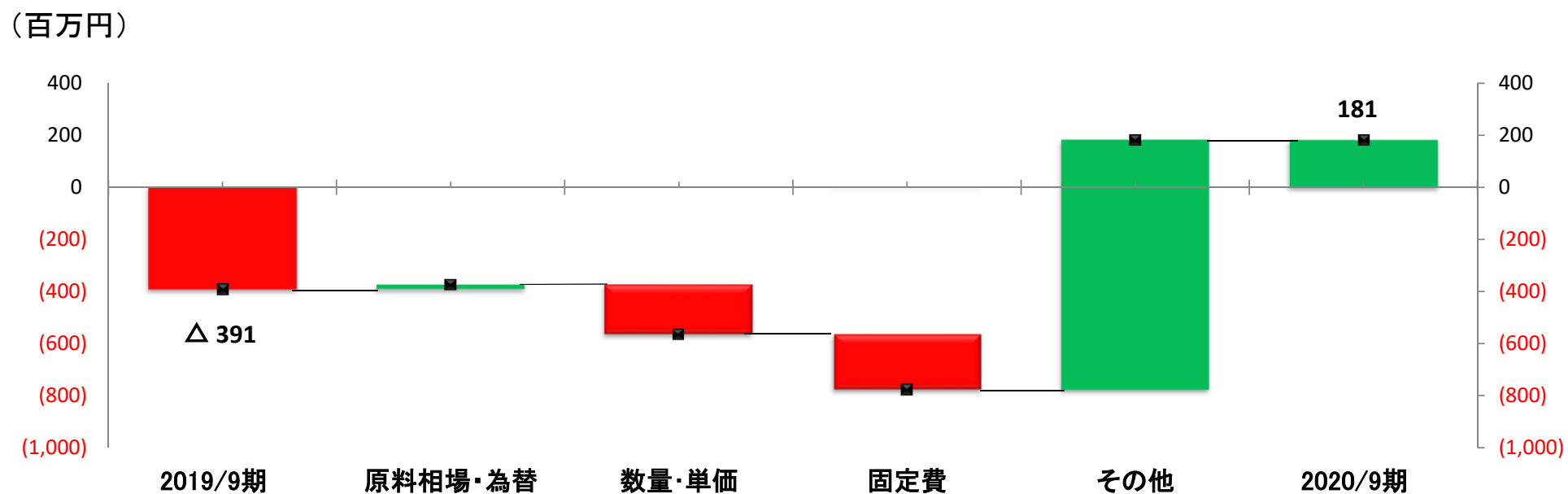
- ・ 前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・ 技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定
- ・ 2020年8月6日 契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高10億円を、2021年3月期第2四半期期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において計上

#### ● Northvolt 社の概要

Northvolt 社は、車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

- ・ 名称 : Northvolt Ett AB ( Stockholm, Sweden )
- ・ 事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・ 大株主 : Northvolt AB
- ・ WEBサイトアドレス : <https://northvolt.com/>

# 8. 営業利益 前年同期との差異要因



## 9. 営業外収支および特別損益

(単位:百万円)

	2019/9期	2020/9期	増減
営業外収支	△ 18	△ 42	△24
金融収支	△ 5	△ 18	△12
為替差損益	△ 10	△ 19	△9
その他	△ 2	△ 4	△2
経常利益	△ 410	138	+548
特別損益	3	12	+8
税引前四半期純利益	△ 407	150	+557
法人税等	125	172	+46
四半期純利益	△ 533	△ 21	+511

# 10. 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2020/3期	2020/9期	増減
流動資産	9,147	8,588	△558
現預金	1,014	1,493	+479
売上債権	2,854	3,149	+295
棚卸資産	3,916	3,485	△431
グループ預け金	700	—	△700
その他	661	460	△201
固定資産	17,112	20,405	+3,293
有形固定資産	16,995	20,258	+3,263
機械装置他	8,605	8,275	△330
土地	1,433	1,433	+0
建設仮勘定	6,956	10,549	+3,593
無形固定資産	6	5	△0
投資等	111	141	+29
資産合計	26,259	28,994	+2,734

	2020/3期	2020/9期	増減
流動負債	8,365	7,166	△1,198
仕入債務	2,055	2,937	+882
借入金	300	675	+375
その他	6,010	3,554	△2,456
固定負債	4,864	8,817	+3,953
借入金	4,800	8,775	+3,975
その他	64	42	△21
負債合計	13,230	15,984	+2,754
資本金	9,155	9,155	—
資本剰余金	6,662	6,662	—
利益剰余金	△ 2,797	△ 2,819	△21
自己株式	△ 2	△ 2	△0
その他	11	12	+1
純資産計	13,029	13,009	△19
負債純資産合計	26,259	28,994	+2,734

自己資本比率	49.6%	44.9%	△4.7%
--------	-------	-------	-------

# 11. キャッシュ・フロー計算書

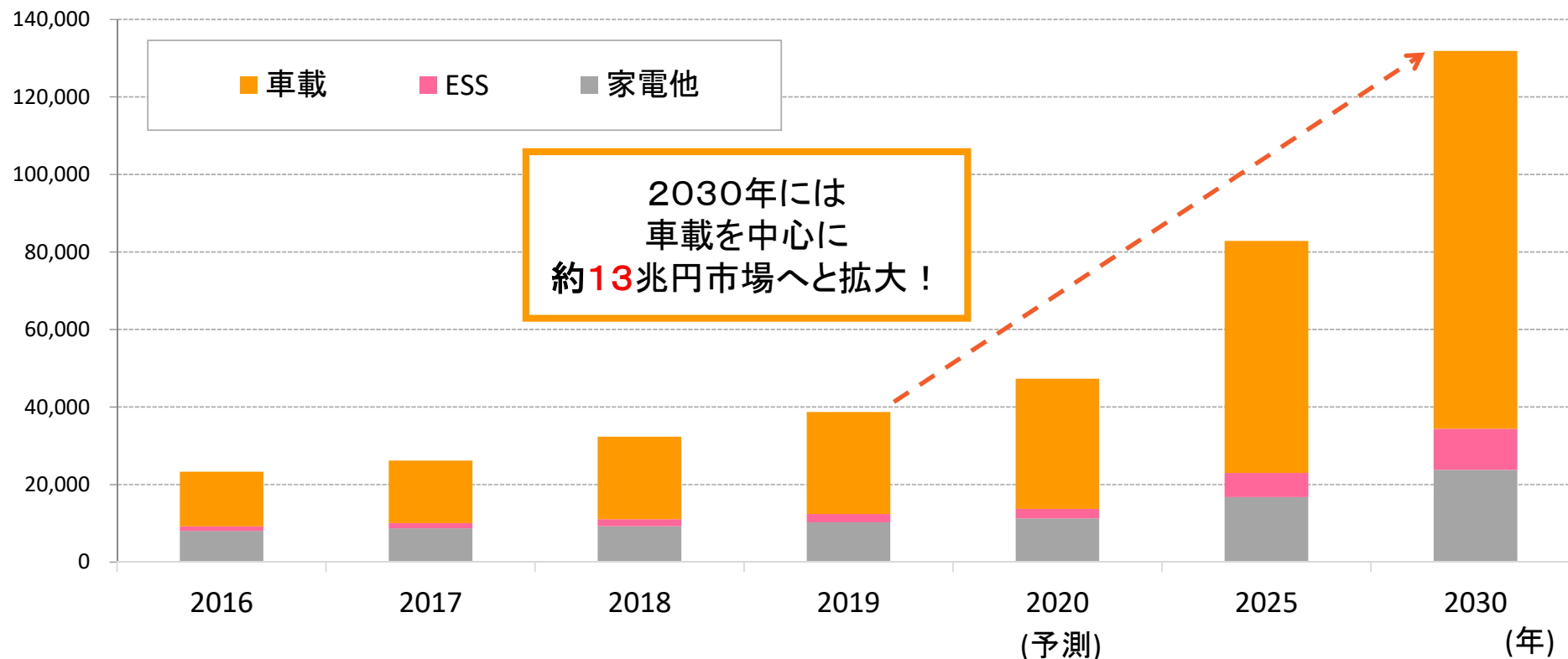
(単位: 百万円)

	2019/9期	2020/9期	増減
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前当期純利益	△ 407	150	+557
減価償却費	399	610	+211
運転資本による資金の増減	△ 727	1,018	+1,745
その他	394	△ 968	△1,363
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 340</b>	<b>811</b>	<b>+1,151</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,393	△ 5,353	+39
その他	3	0	△2
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,392</b>	<b>△ 5,354</b>	<b>+37</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,732</b>	<b>△ 4,543</b>	<b>+1,189</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増額	1,900	—	△1,900
長期借入れによる収入	—	4,500	+4,500
長期借入金の返済による支出	△ 150	△ 150	—
その他	△ 84	△ 6	+78
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,665</b>	<b>4,343</b>	<b>+2,678</b>
現預金等換算差額	△ 7	△ 21	△13
現預金等増減額	△ 4,075	△ 220	+3,854
期末現預金残高	4,460	1,493	△2,966

# 12. 今後のリチウムイオン二次電池市場

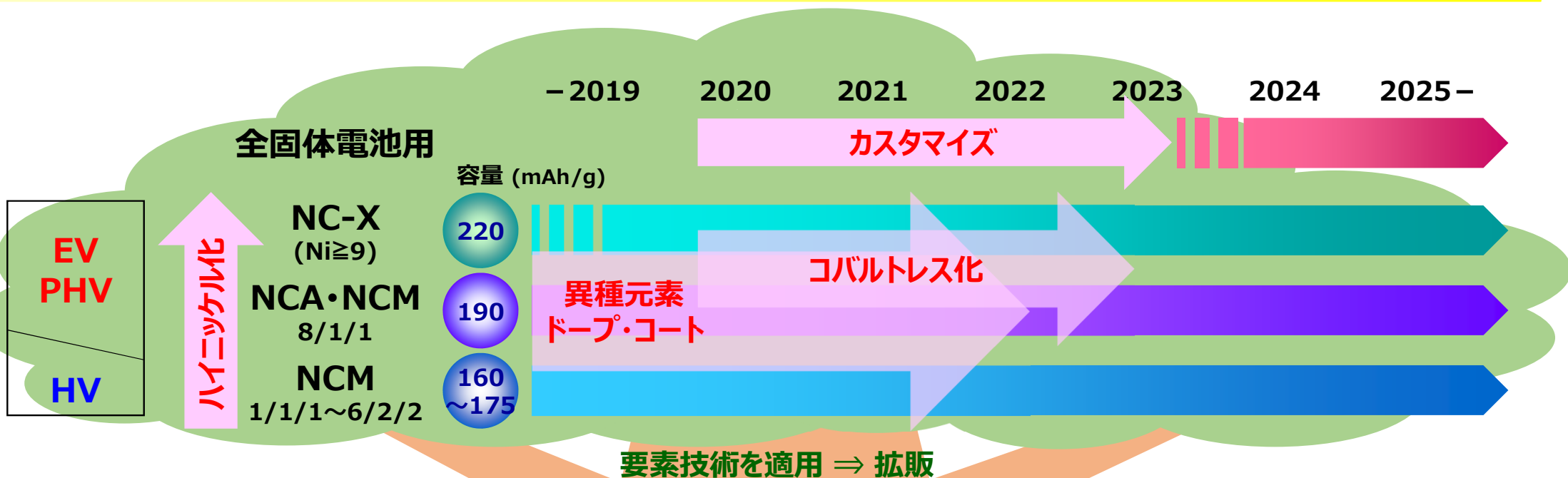
## リチウムイオン二次電池市場予測

(単位: 億円)



出所: 富士経済「エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望 2018—エネルギーデバイス編—」

# 13. 技術開発の方向性



要素技術を適用 ⇒ 拡販

要素技術	ターゲット
粒子形態・粒径制御	高エネルギー密度
粒度分布狭幅化	耐久性
空隙付与・一次粒子微細化	高出力化、耐久性
プロセス開発	低コスト化

EV  
PHV  
HV

# 14. 中期ビジョン

中長期的に二次電池向け材料市場で存在感あるポジションを確立

中長期的な拡販  
+  
用途・地域ポート  
フォリオの最適化

- ✓ 生産能力(2,000t/月以上アップ) ⇒ 拡販
- ✓ 日本、韓国、中国、欧州にバランスよく

技術開発  
+  
合理化  
生産性向上

- ✓ 要素技術の複合化
- ✓ 原材料コストダウン
- ✓ 収率向上・省力化
- ✓ 既存設備能力増強



# 15. 2021年3月期 業績予想

(単位:百万円)

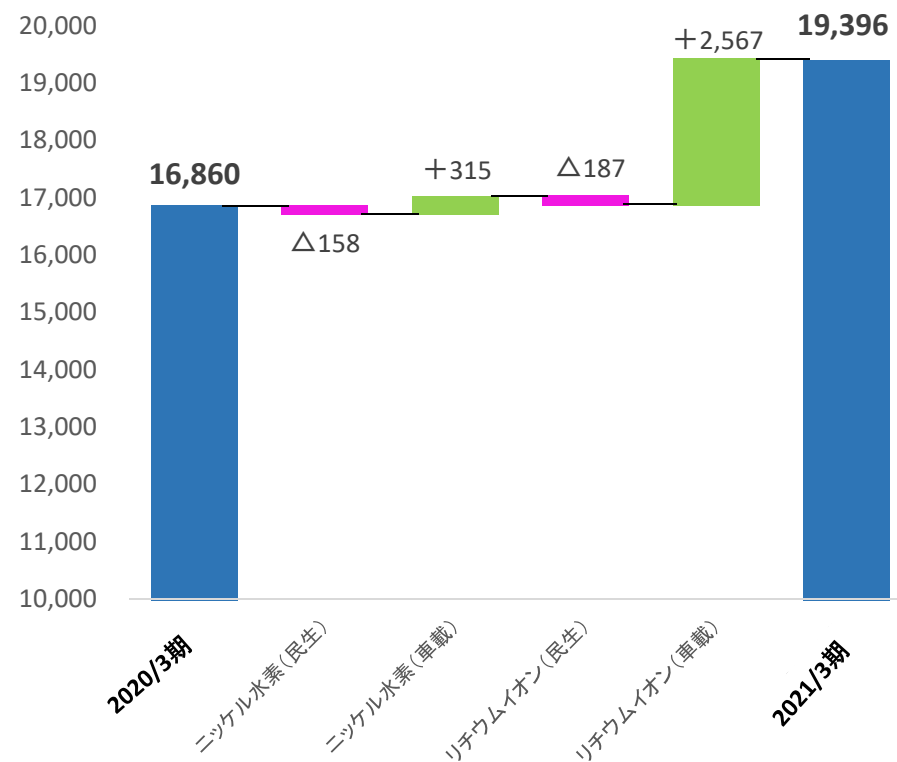
	2021/3期		増減	(ご参考) 2020/3期実績
	前回発表 予想	今回修正 予想		
売上高	30,000	23,000	△ 7,000	20,073
営業利益	130	△ 500	△ 630	△ 1,365
経常利益	70	△ 550	△ 620	△ 1,503
当期純利益	50	△ 900	△ 950	△ 1,628

※上記の予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績等は予想値と異なる場合があります。

# 16. 製品別販売数量予想

(単位:t)

		2020/3期	2021/3期	増減	増減率
リチウムイオン	民生	5,173	4,985	△ 187	△3.6%
	車載	6,648	9,216	+2,567	+38.6%
	計	11,822	14,201	+2,379	+20.1%
ニッケル水素	民生	368	209	△ 158	△43.1%
	車載	4,669	4,985	+315	+6.8%
	計	5,038	5,195	+156	+3.1%
合計		16,860	19,396	+2,536	+15.0%



# 付属資料

# 17. 業績を見る注意点

販売単価

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= (\text{主原料国際価格} + \text{加工単価}) \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

//  
利益に関係なく増減

//  
利益の源泉  
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。  
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

## (注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。